

島根県立大学生 × 弥栄のみらい創造会議 協働による地域発信プロジェクト

島根県立大学生とタッグを組んで、弥栄のみらい創造会議の活動や頑張っている方の取組みが皆さんに届ように発信していこう！そして興味関心を持ってもらおう！と思い、このプロジェクトを始動させました。

第3回目は、弥栄のみらい創造会議 なりわい部会の竹岡副部長に島根県立大学の学生さんがインタビューをしました。

なりわい^{部会}

地域資源の活用に関すること。地域の生活に根付いた「ワザ」「モノ」「コト」を活用した産業の活性化に関すること。

県大生

なりわい部会では普段どのような活動をされていますか？

竹岡さん

普段は、や市で行うイベントの企画・運営、野菜や加工品の販売。また、地域資源の活用を目的として、竹パウダーを活用するための試験を行っています。

県大生

なりわい部会の活動を行う中で、やりがいを感じるのはどのようなときですか？

竹岡さん

や市やイベントが成功したときにやりがいを感じます。イベントの企画は大変ですが、や市が地域の方々のコミュニティの場となり、地域活性化につながればと思います、活動しています。

県大生

弥栄のみらい創造会議の課題はありますか？

竹岡さん

課題は新しいメンバーがなかなか入らないことが課題だと思います。会議が夜にあるということもあり、小さなお子さんがいらっしゃるご家庭は参加しづらいのが現状です。子育て世代の方も活動に参加できるようにしたいですね。

県大生

弥栄のみらい創造会議として今度どのような活動が必要であるとお考えですか？

竹岡さん

今後は、買い物をする場が減少してきたときに、買い物に関する様々な問題を解消するような活動が必要であると考えています。車を持っている方もそうでない方も、もっと気軽に買い物ができるようにしていきたいです。

島根県立大学生 × 弥栄のみらい創造会議 協働による地域発信プロジェクト

県大生

なりわい部会の副会長として活動に対する今後の抱負をお聞かせください。

竹岡さん

今後の取り組みとして、小・中・高・大学生が自然と参加できる取り組みをおこなっていきたいです。若い世代の人が地域のイベントに参加することで地域の活性化を促すことができるのではないかと考えています。



県大生

最後に弥栄地区の方々へのメッセージをお願いします。

竹岡さん

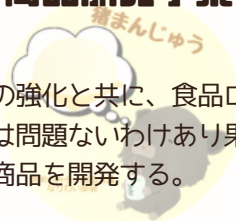
地域の方にはお祭りなどでの集落単位で出店をぜひ積極的に行っていただきたいです。集落単位で参加してもらうことで、コロナの影響で失ってしまった地域の中でのつながりを再度持つきっかけになると思います。



— なりわい部会 今年度の活動を少し紹介します —

新商品開発事業

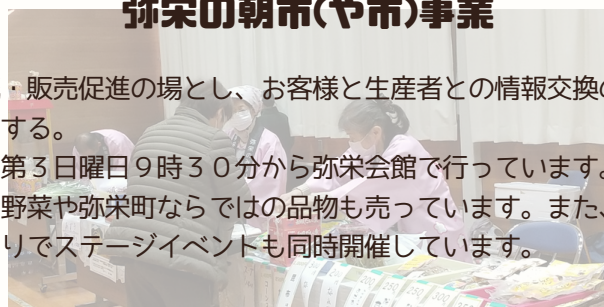
加工組織の強化と共に、食品ロスになっている、味には問題ないわけあり果実や野菜を使用し、新商品を開発する。



弥栄の朝市(や市)事業

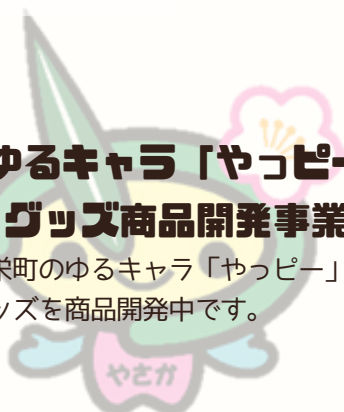
交流・販売促進の場とし、お客様と生産者との情報交換の場とする。

毎月第3日曜日9時30分から弥栄会館で行っています。新鮮な野菜や弥栄町ならではの品物も売っています。また、月替わりでステージイベントも同時開催しています。



弥栄ゆるキャラ「やっピー」の グッズ商品開発事業

弥栄町のゆるキャラ「やっピー」のグッズを商品開発中です。



地域資源の有効活用研修会事業

食物がもつストレスを緩和するための資源を使った野菜栽培の実験をする。

